

平成23年度 第2回水と緑の森づくり会議・日程表

とき 平成23年11月10日(木)

スケジュール

| 時間 | 項目 | 内容 |
|--------------------------|--------------------------|--|
| 7:30 | 集合・出発 | 武道館前 乗車：【委員】【職員】 |
| 9:30 | (経由) | J R大田市駅 乗車：【委員】 |
| 9:35 | (経由) | 大田市森林組合 乗車：【委員】【森林組合】 |
| 10:05 ～ 11:30 | 間伐現場 | 大田市川合町地内の山林 伐倒現場(大田市森林組合実施)の視察 |
| 12:00 12:40～ 13:20 | 昼食 事業説明及 び意見交換 | 大田パストラル ・第1回会議での委員提案等の措置状況 ・4～10月の水森事業概要について |
| 13:30 | チップボイ ラー視察 | 緑と水の連絡会議 七色館 大田市大田町大田 |
| 14:40 ～ 15:20 | 活動状況の 説明(みーも スクール) | ゆきみーる 大田市大田町大田 (大森小・五十猛小 みーもスクールの状況) |
| 15:30 | (経由) | 大田市森林組合 下車：【委員】 |
| 15:40 | (経由) | J R大田市駅 下車：【委員】 |
| 17:40 | 解散 | 武道館前 下車：【委員】【職員】 |

参加者名簿

水と緑の森づくり委員

| 部 門 | 所属等 | 氏名 |
|--------|--------------|--------|
| 公募 | | 國井 加代子 |
| 公募 | | 齊藤 邦子 |
| 公募 | | 松田 絹代 |
| ボランティア | NPO法人浜田おやこ劇場 | 花田 香 |
| 教育 | 島根県小学校長会 | 松下 明 |
| 森林経営 | 指導林家 | 松田 直美 |

事務局

| 職名 | 氏名 |
|---------|-------|
| 管理監 | 吉木 律雄 |
| 林業普及専門幹 | 伊藤 隆雄 |
| 企画幹 | 石橋 聡 |
| 主任 | 杉本 真矢 |

教えて！みーもくん！



高性能林業機械ってなに？

日本の林業では、チェーンソーで木を伐って（伐倒）、チェーンソーで枝を払って一定の長さに伐って（造材）、集材機（図-1）と呼ばれる機械で木材を山から出していたんだ。

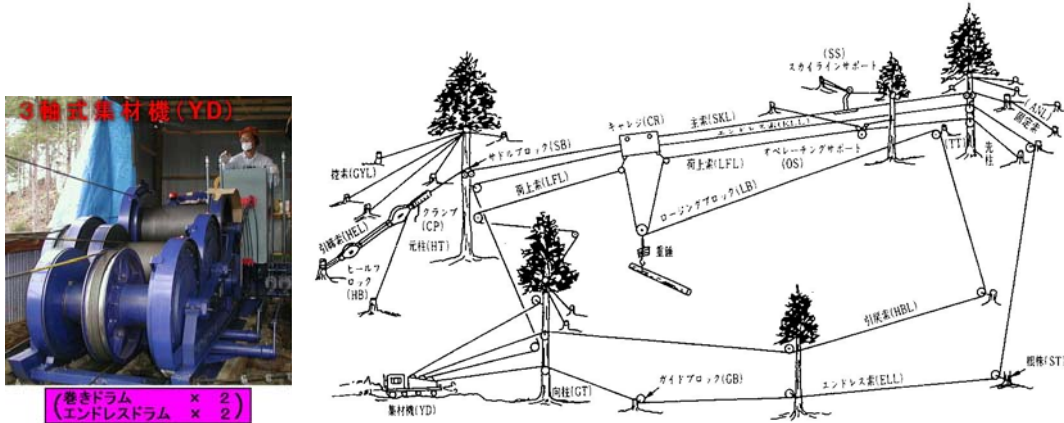




図-1 集材機による架線集材

図を見ても、訳がわからないでしょ？集材の技術は、熟練の技術者に任されていたものなんだ。このような架線を張るのに1週間程度必要で、しかもその間、集材もしないのに（生産がゼロ）人件費だけは必要なんだ。このため、チェーンソーによる伐倒・造材、集材機による集材方法では、木材1m³あたり1万円以上のコストがかかってしまうんだ。ところが、木材価格がスギでは1m³あたり1万円を切る現状では、いかに安く木を伐り出すかが大事なところ。機械に任せる事ができる工程は、機械にやらせよう！

そこで登場したのが、次のような機械。これらの機械を総称して「高性能林業機械」と言うんだ。

| 分類 | 機械名称 | 解説 |
|-------|---------|--|
| 集材系機械 | タワーヤード |  簡易に架線集材できる人工支柱を装備した移動可能な集材機。急傾斜地での比較的長い距離の集材に向いている。 |
| | スイングヤード |  主索を用いない簡易索張り方式に対応し、作業中に旋回可能なブームを装備する集材機。油圧ショベルに集材用ウインチを搭載し、アームをタワーとして使用する。 |

| | | |
|-----|--|--|
| | スキッダ |  <p>丸太の一端を吊り上げて土場まで地引集材する集材専用の自走式機械。主として伐開された林地内で使用される。</p> |
| 伐倒系 | フェラーバンチャ (木を伐る機械) |  <p>立木を伐倒し、切った木をそのまま掴んで集材に便利な場所へ集積する自走式機械。チェーンソーに代わり、最も危険な伐倒作業を行う。</p> |
| | プロセッサ (伐倒された木を処理する機械) |  <p>林道や土場などで、全木集材されてきた材の枝払い、測尺玉切りを連続して行い、玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械</p> |
| | ハーベスタ (木を伐って、処理する機械) フェラーバンチャ+プロセッサの機能をもつ |  <p>従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。</p> |
| 運材系 | フォワーダ |  <p>グラップルローダーで、玉切りした短幹材を荷台に積んで運ぶ、集材専用の自走式機械。主として作業路上を走行する。</p> |

木材の生産性（1人が1日どれだけの木材を生産できるのか）は、チェーンソー+集材機による生産性が2m³/人日であったものが、高性能林業機械が入ってきてから5m³/人日以上と飛躍的に増加しました。

間伐ってなに？

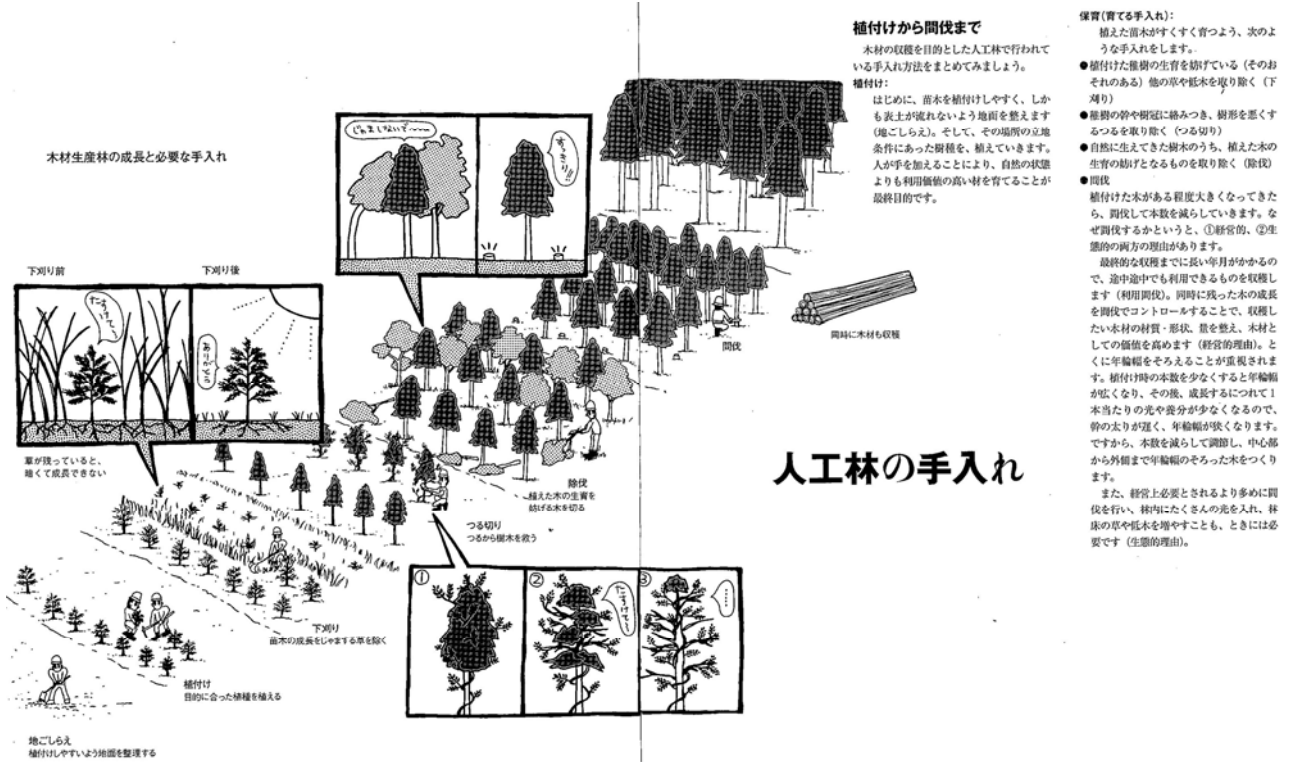
スギやヒノキなどを植えると、翌夏から下刈という草刈りが必要になるんだ。この下刈は5年程度必要で、草の高さを超えると下刈は必要なくなり、さらに15年ほどすると、今度は「間伐」という作業が必要になるんだ。

植えた木が成長し、隣の木と成長の競争が起きちゃうんだ。競争状態を放置しておくと、木の高さの割りに木の太さが細い「もやし」のような林になるんだ。

そうすると、強い風が吹いたり、雪が降ったりすると、簡単に折れてしまう。

また、もやしの林の中は薄暗く、下草が全く生えていないため、降雨により土砂の流出が引き起こされてしまうんだ。

このため、適当な時期に木を間引き（間伐）、木と木の競争を緩和し、木を適当な太さに成長させ、同時に林の中に光を入れ、下草を生やすことで、土砂の流出を防ぐこともできるんだ。



「間伐材」という言葉を聞いたことがある人もいるんじゃないかな？

近年、間伐した木材を利用しようという取り組みが盛んに進められ、私たちの生活の場で「間伐材」が出回り始めているんだ。でも、間違えないで欲しいのは、「間伐材」だからといって、使えない木を生産しているのではなくて、森林にとっていらぬ木を伐りながら、その中で、人間が使える木材を利用している事なんだ。

だから、皆伐という森林全部を伐って木材生産する場合より、木材の生産コストは高くなるんだ。

「間伐材は安いはず」というイメージが消費者に浸透してしまっているけど、実は、普通の木材も間伐材もコストをかけて生産している点では同じなんだよ。